

## 第1学年2組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成26年12月10日(水) 5校時 1年2組教室

2. 議題 「ファイト! スーパー げんき しゅうかいを しよう」

学級目標: めざせ、スーパー2年生 「いっしょうけんめい」
----------------------------------

3. 議題について

(1) 児童の実態 <男子12名、女子11名 計23名>

全体的に明るく元気で、体験的な活動、体を動かす活動に対して意欲的な子どもたちが多い。4月から継続的に取り組んでいる大縄の練習では、かけ声をかけたり、入るタイミングを教え合ったりと友だちのことを意識して活動する子が増えてきた。

4月に1年生らしく何事にも頑張っ取り組んでほしいという担任の思いを伝え、子どもたちと話し合い、「いっしょうけんめい」を合言葉に学級目標を設定した。「一生懸命仲良くする」「一生懸命協力する」「一生懸命勉強する」など、何事も一生懸命取り組むことで、スーパー2年生になれると伝えてきた。学級目標を意識して生活できるよう、友だちが一生懸命取り組む姿を見つけた時は、帰りの会で発表するとともに、スーパーマン貯金としてビー玉を貯めている。スーパーマンパワーが貯まっていくことに喜びを感じ、普段の授業で発言が少ない子も意欲的に発表する姿が見られるようになった。また、スーパーマン貯金をすることで、学級全体が学級目標を意識し、スーパー2年生になるために友だちのよいところを前向きに見つけようとする雰囲気がある。

学級会は、「みんながより仲良くなるために取り組むもの」と伝えてきた。11回の学級会をし、「スーパーなかよしどうしゅうかい」や「スーパーきょうりょくしゅうかい」などの集会を経験した。みんなで集団決定したことを実践し、学級が仲良くなってきていることを実感しているところである。

9月頃から「どのようにやるか」を考えた話し合いが十分にできるように計画し、子どもたちの工夫した意見を引き出してきた。9回目の「スーパーなかよしどうしゅうかい」では、リレーに決まり、「みんながなかよくなる」というめあてから「2人で手をつないで走る。」「バトンじゃなくてハイタッチをする。」などの工夫した意見が出てきた。「走るのが苦手。」という心配意見には、「みんなで歩けばいい。」「ゴールを近くしたらいい。」など、みんなのことを考えた意見が出てきた。結果、リレーとはかけ離れたルールになったが、お互いに思いやって実践している姿から、話し合っ決めてことをみんなでやり遂げる大切さを感じている。ふり返りの場面では、ただ「決まってよかった。」「早く集会がやりたい。」という感想だけではなく、「色々なルールや工夫が決まってよかった。」と、喜びを分かち合う様子も見られるようになってきた。

集会活動に向けた準備では、図書室前のグッズコーナーの説明書を参考にクラッカーを作ったり、「司会には、マイクがほしい。」と発想し、マイクを作ったりしてきた。集会が近くなると、役割ごとに集まって発表の練習をしたり、役割の確認をしたり、集会活動をより楽しく工夫して盛り上げようという子どもが増えてきている。

集会活動では、子どもたちだけで進めていくと、まだまだスムーズに進まない状況がある。そうした

失敗体験から、休み時間に役割ごとに声をかけ合ってリハーサルをする姿が見られるようになり、自信をもって話をする姿や友だちの話聞く雰囲気が少しずつ出てきていた。とはいえ、まだ1年生であるため、活動中に「どのような行動がスーパー2年生なのかな。」と、学級目標を意識できる言葉かけが必要であると感じている。

## (2) 議題選定の理由

学級で貯めているスーパーマン貯金のメーターがいっぱいになり、「みんなで頑張ったことをお祝いしたい。」「もっとスーパー2年生に近づくために、みんなで何かしたい。」と、提案された。提案者に話を聞くと、1組の「1組ファイト集会」の掲示を見て、「みんながもっと元気になれば、きっとスーパー2年生に近づける。」という思いがあったようである。

これまでの学級会では、「楽しく」、「仲良く」、「協力」などのテーマを決めた集会を経験してきた。それをふまえて上記の2つの案について学級で話し合ったところ、「もっと元気になれば、スーパー2年生になれる。」という理由から、学級がもっと元気になることが必要だと感じた。今回は「元気」をテーマに、学級がよりパワーあふれる元気な「スーパー2年生」に近づくことを願い、本議題を選定した。

子どもまつりや学習発表会などの大きな学校行事が終わり、子どもたちも次の学年を意識して生活するようになってきたところである。提案者の思いにもあるように、今回の学級会をきっかけに、「スーパー2年生にまた一歩近づけた。」「スーパー2年生に向けてもっと頑張りたい。」と感じてほしい。

## (3) 学級会（話し合い活動）の様子

提案理由、「みんながもっと元気になれば、スーパー2年生に近づけると思ったからです。」めあて、「みんながもっと元気になれる遊びを考えよう」上記のような、提案理由とめあてで学級会を行った。柱1では、「何をするか」について話し合いを行った。他のゲームの賛成意見も出たが、話し合いが進んでいくとフルーツバスケットに意見が集中し、賛成多数で決定された。柱2では、「元気な遊びになる工夫」について話し合いを行った。「たくさんの人が動いた方が元気になれる。」という意見から複数のフルーツを言うこととなった。

しかし、工夫を考えるにあたり話し合いが停滞したことから、実際に活動して話し合いを進めることとした。実践していく中で、「かけ声をかけてから、始めればもっと元気になれる。」という意見から「がんばるぞー、オー。」と、かけ声をかけてから始めることとなった。また、「運動をすると元気になれる。」という意見から、「運動バスケット」とし、フルーツではなく、リレーやとび箱の方がいいという言葉を引きかけに動くルールへと変わった。実際に取り組んだことによって、子どもたちのイメージが明確になり、めあてに沿ったよりよい意見が出されていった。

#### 4. 評価規準

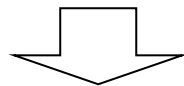
集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
決定したことについて、進んで準備や計画に取り組もうとしている。	決定したことや役割を考え、仲良く助け合って実践している。	決定したことについて、みんなで実践することの大切さや方法について理解している。

#### 5. テーマとのかかわり

テーマ： 夢や希望をもち、よりよい人間関係を築く特別活動

サブテーマ： 自分もよく、みんなもよい

～聞き合い、折り合い、分かち合い～



低学年の目指す子ども像：

自分の気持ちを伝えたり、友だちの考えをよく聞いたりして、仲良くできる子

#### 教師の思い

集会活動に向けた準備では、それぞれの役割で学級がもっと元気になれるような工夫がさらに生まれるよう、「元気」を合言葉に声をかけていきたい。子どもたちが元気を意識して準備に取り組むことで、学級のみんなが「元気に集会をやるんだ。」という思いをもって集会に臨んでほしい。

1年生とはいえ、集会活動はなるべく自分たちの力で楽しいものとなるようにしてほしい。支援する際には、「こうした方がいい。」「こうやろう。」という言葉かけではなく、「こういう時はどうするの?」「どういう行動がスーパー2年生かな?」といった言葉かけをすることで、子どもたちから気付き、自主的に活動できるようにしたい。話合いで決められたことに満足するだけでなく、集会活動をしていく中でうまくいかない事もあることを感じ、なすことによって学んでいってほしい。

集会活動終了後には、決まったことをみんなで協力して形にする喜びや、「みんなと仲良く活動できてよかった。」「みんながもっと元気になれた。」という思いを分かち合ってほしい。また、学級会を通して、自分たちで決めたことを実践できることの楽しさを通して、友だちとよりよい人間関係を築いていってほしいと願っている。



テーマに迫るための手立て

### 学級会（話し合い活動）

<前日まで>

#### ○アンケートの活用

「何の遊びをするか」について意見を集約、整理し、事前に短冊に書き掲示しておくことで、事前に遊びの内容やルールの共通理解をする。

#### ○計画委員への支援

話し合いの進め方を司会台本を使ってシミュレーションすることで、イメージをもち自信をもって司会ができるようにする。

<当日>

#### ○イメージの共有

一つの意見に共通したイメージをもつために、友だちの意見を受けてわからないところを質問したり、自分の考えを伝えたりすることができるように助言をする。

#### ○話し合いの可視化

色の違う賛成、反対マークを使うことで、自分と同じ意見や違う意見が出ていることに気付けるようにする。また、意見を黒板に貼ることで、子どもたちの意見を整理できるようにする。

### 事前準備

#### ○集団決定の大切さ

話し合っただけで決めたことは、必ず実践することを伝え、実際に取り組んできた。役割分担も全員が協力して行い、実践に向けて準備を進めるようにする。ルールや約束など決まったことに関しては、みんなが共通理解して実践に取り組めるように掲示しておく。

## 集会活動

### ○分かち合いの場

決まったことを実践することで集団としての満足感や達成感が得られるようにする。感想やふり返りの場では、集会活動を通して学んだことやクラス全体でよかったことを発表し合う。また、教師の話の中にめあてに沿って活動できたこと、集団として仲良く助け合っできたこと、次に考えるべきことを伝え、実践を通して感じたこと考えたことをふり返り、次の議題への意欲付けができるようにしていく。

## 6. 活動の実際

### (1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価(☆)と支援(○)
11月19日(水) 休み時間	計画委員で、議題の選定をし、めあてや役割分担の計画を立てる。	○議題の内容を確認し、学級会に向けて統一したイメージをもてるようにする。 ○役割を確認し合い、学級会の進め方が理解できるようにする。 ☆担任とともに学級会の進め方を理解しようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月20日(木) 朝の会	クラスに議題、提案理由、めあてを伝える。 議題に対するアンケートをとり、記入後集める。	○話合いの柱を確認することで、学級会へのイメージをもてるようにする。 ○一人一人が自分の考えをもてるようにする。 ☆話合い活動の意見を考えようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月21日(金) 特活タイム 放課後	担任がアンケートの集約をする。  学級全体でアンケートの意見を精選し、掲示する。	○提案理由やめあてに沿った意見かどうか確認する。 ○意見を分類整理し、話合いの流れを確認する。 ○事前に集めた意見を学級会コーナーに掲示することで、自分の意見をもてるようにする。
11月25日(火) 中休み	計画委員で話合い活動のながれを話し合う。 役割分担に従ってシミュレーションを行う。	○流れを確かめられるように学級会の場面を一緒にイメージしていく。 ☆担任とともに学級会の進め方を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月25日(火) 学級活動	学級会をする。	○話合いがそれてきた時には、めあてに沿って考えるよう全体に伝える。 ☆学級生活を楽しくするために話合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

11月26日(水) ～12月9日(火)	みんなで役割分担を決める。 分担にしたがって準備やリハーサルを行う。	○準備が停滞している役割のグループに声をかける。 ☆学級のみんなど仲良く助け合って準備している。(集団の一員としての思考・判断・実践)
------------------------	---------------------------------------	--

(2) 本時の活動

- ①ねらい みんなと元気に楽しく活動することができる。
- ②本時の視点 ねらいを意識して集会に取り組む姿が見られたか。  
分かち合いの姿が見られたか。
- ③児童の活動計画 当日のプログラム
- ④教師の指導計画

児童の活動	評価(☆)と支援(○)
プログラム1. 始めの言葉 ・クラッカーで盛り上げる。	○集会がスムーズに進むように、自分たちの役割とめあてがわかって取り組めるように確認しておく。 ☆自分の役割やめあてを理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)
プログラム2. 元気宣言 ・みんなが元気になれるかけ声をかける。	
プログラム3. はたの完成 ・事前に途中まで準備したはたを完成させる。 ・はたの披露。	☆決定したことを受けて、ねらいに沿って活動しようとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
プログラム4. 運動バスケット ・運動の名前を言う前に、「いくぞー、オー。」と言う。 ・元気な声で言う。 ・運動の名前を複数言う。	
プログラム5. 感想発表	☆学級目標やめあてを意識してふり返ろうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
プログラム6. 先生の話	○学級目標やめあてに沿った感想が出てきた際には、積極的に褒めて価値付けをする。
プログラム7. 終わりの言葉	○実践の中で分かち合う姿が見られたところや、準備の様子を伝え、次の活動へ意欲が高まるようにする。

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価 (☆) と支援 (○)
12月11 (木) 朝の会	ふり返しカードの記入をする。	○集会で元気になれたことや楽しかったことなどをふり返るよう伝える。 ☆教師と一緒に考え、めあてに沿ってできたことをふり返っている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)